

● 予想以上の効果に大満足！

平成 29 年 4 月 1 日、島根県中央酪農農業協同組合連合会様が『島根中酪株式会社』として、組織変更されました。今回、安食総務部長様を訪ね、組織変更等についてお話を伺いました。

昨今の酪農は、国の規制改革会議の指定団体制度見直し提言など、外部から改革圧力が高まっています。このような中で、平成 27 年度には県内 JA の統合により JA しまねが誕生し、島根中酪は農協連合会として組織形態の見直しが必須となり、全国で初めて島根中酪様が株式会社へと組織変更をされました。

島根県内には 4 つの牛乳生産工場がありますが、酪農家の後継者不足による生産量減少、消費者の牛乳離れ等もあり、地元で搾乳した生乳は島根県内で約 3 割を商品加工し、残り約 7 割は県外の各メーカーへ販売をしています。

また、スーパー、コンビニ、ドラッグストア等にも商品を販売展開していますが、その中には大手メーカーはじめ県外メーカーの商品もあり、一段と競争が激しくなっているのが現状です。

このような環境下で島根中酪様は、他社と差別化を図るために、県内唯一の農協プラントとして、また HACCP(注1) 承認工場としての特性を生かし【安心・安心】で「美味しい」を基本に、健康な乳牛を如何に育てるかを生産者の方々と一緒に考えておられます。今後の展開として、新体制の元、新たな商品開発に手掛けていかれます。

皆で地元産の牛乳を愛飲していきましょう。

(聞き手松下)



電気代約 20% の削減効果が出た最新チルド冷却設備と導入実行された石川部長



注 1 : HACCP(ハザップ)とは、安全で衛生的な食品を製造するための管理方法のひとつ

松下より：5月号の発行を本紙面とさせて戴きます。発行が遅れましたことをお詫びします。